

## 認知症について

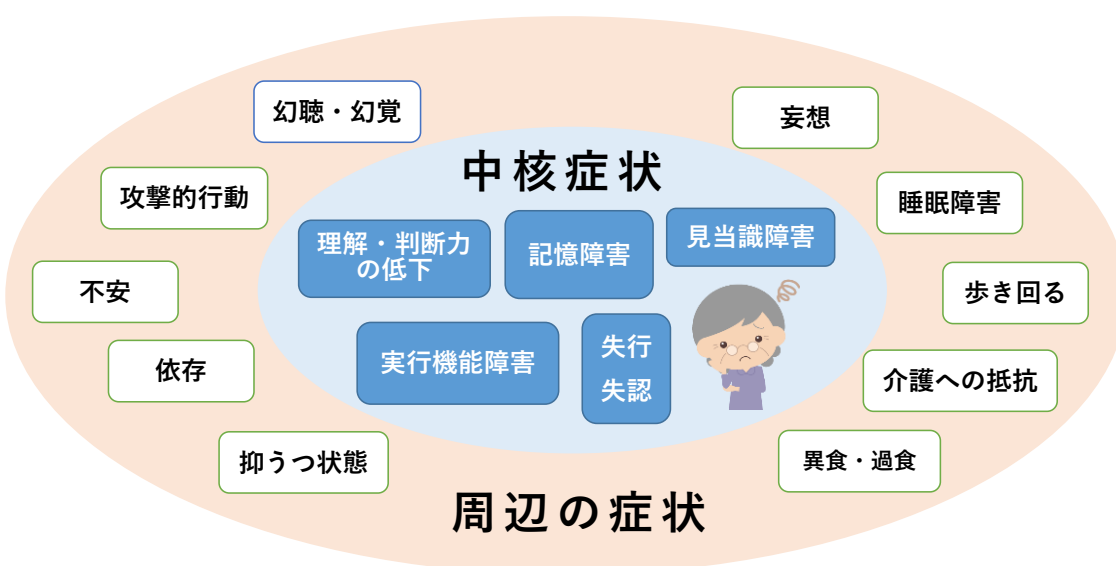
ちょっと前のことを思い出せない、新しいことを覚えづらいといったことは誰にでも身に覚えのあることです。これを一般的に「度忘れ・単なる物忘れ」と言います。しかし認知症による物忘れはそれとは違い、脳の細胞が壊れることによって記憶や認知能力が失われ（中核症状）、その結果、日常生活に支障をきたす症状がでる（行動・心理症状）病気のことを指します。それでは、具体的に「度忘れ・単なる物忘れ」と「認知症による物忘れ」の違いを見てみましょう。

### 【度忘れ・単なる物忘れと認知症による物忘れの違い】

度忘れ・単なる物忘れ	認知症による物忘れ
・体験したことの一部を忘れる （自覚している）	・体験したことの全体を忘れる （自覚に乏しい）
・なんらかのきっかけで後から思い出すことができる	・きっかけがあっても後から思い出すことが少ない
・日常生活や社会生活に支障がない	・日常生活や社会生活に支障がある
・短期間での変化はない	・短期間で変化（進行）が見られることが多い

### 【中核症状と行動・心理症状（BPSD）】

認知症では「中核症状」と「行動・心理症状」が現れることがあります。以下では中核症状と行動・心理症状について説明します。



## 1 中核症状

脳の細胞が壊れることによって直接起こる症状です。

中核症状名	症状
記憶障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夕食を食べたばかりなのに「飯はまだか」と言う。</li> <li>●物忘れが激しく、ヒントがあっても思い出せない。</li> </ul>
失語（言語障害）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「これ」「それ」「あれ」などの指示語が多くなったり、相手の言っていることをオウム返しするようになる。</li> <li>●言葉の意味が分からず、会話のつじつまが合わない。</li> </ul>
失行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●服を着るときの順番がわからなくなる。</li> <li>●ハサミや箸の使い方がわからなくなる。</li> </ul>
失認	<ul style="list-style-type: none"> <li>●料理の味が変わる（異常に甘くなる。異常にしょっぱくなる。）</li> <li>●時計の文字盤が読めない。</li> </ul>
見当識障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>●季節感のない服を着るようになる。</li> <li>●自宅にいてもトイレの場所がわからなくなる。</li> </ul>
判断力障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動精算機での支払いができなくなる。</li> <li>●電化製品が新しくなると使えなくなる。</li> </ul>
実行機能障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冷蔵庫が同じ食材でいっぱいになる。</li> <li>●きれい好きだったのに、部屋が散らかってくる。</li> </ul>

## 2 行動・心理症状

中核症状がもとになり、本人の性格や素質、周囲の環境や人間関係などが影響して現れる症状です。

	行動・心理症状	症状の具体例
初期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やる気が出ない</li> <li>・不安が強い</li> <li>・「物を盗まれた」という</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●財布をしまい忘れ、「財布がない。○が盗んだ。」と訴える。</li> <li>●頻繁に物をなくす。</li> </ul>
中期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出中道に迷うことが多くなる</li> <li>・妄想が出現しやすくなる</li> <li>・興奮しやすくなる</li> <li>・便をいじる等の不潔行為を起こしやすくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分のいる場所が分からなくなり、あちこち歩きまわり警察等に保護される。</li> <li>●食事をしたのを忘れて、「（家族に）ご飯をたべさせてもらえない。」と訴える。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情が乏しくなる、尿や便の失禁が増える、運動機能が低下する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●寝たきりの状態（上手く歩けない、食事を飲み込めない等）になることもある。</li> </ul>

**大切なのは「行動・心理症状がある方の混乱や不安の原因を理解すること」です。**

## 【代表的な認知症の種類】

### ①脳血管性認知症

前頭葉にある中大脳動脈や前大脳動脈に脳梗塞や脳出血が起こり、前頭葉が障害され発症する病気です。意欲が低下したり、複雑な作業ができなくなったりする等の症状が見られます。

### ②アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞が神経の変性により、通常よりも早く減ってしまい、脳が委縮して行く病気です。比較的早い段階から、記憶障害、見当識障害のほか、不安・うつ・妄想等の症状が見られます。

### ③レビー小体型認知症

レビー小体という一種のゴミのようなものが脳細胞にたまることによっておこる病気です。物忘れと幻視、注意障害、運動障害等の症状が見られます。

### ④前頭側頭型認知症

司令塔役の前頭前野を中心に傷害されるため、がまんをしたり思いやりなどの社会性を失い、「わが道を行く」行動をとる等の症状が見られます。

## 【その他】

早く治療をすれば治るタイプの認知症状もあります。また、うつ病などの認知症に似た病気もあり、見逃さないことも大切です。

## コラム

### ～共生社会の実現を推進するための認知症基本法～

認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会の実現を目的に、令和5年6月14日に成立、令和6年1月1日に施行されました。

この法律では認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、7つの基本理念と、認知症の人に関する国民の理解の増進等、認知症の人の社会参加の機会の確保等、サービス提供体制の確保、認知症の予防等の8つの基本的政策を定めています。

また9月を「認知症月間」、9月21日を「認知症の日」と定め認知症についての理解と関心を深める期間としています。